



「男だから」「女だから」ではなく
「自分らしく」できること。
スポーツで輝く人に
性別は関係ありません。

① なでしこジャパンで注目

2011年、サッカー女子日本代表「なでしこジャパン」がW杯で優勝し、世界の頂点に立ちました。サッカーと言えば「男性のスポーツ」のイメージが強かった中、なでしこジャパンの快進撃は人々を魅了し、日本中に元気と勇気を与えました。

③ ドラマ化や小説化。 注目される男性のスポーツ

女性のイメージが強いスポーツで活躍する男性もたくさんいます。男性のシンクロナイズドスイミングや新体操をテーマにしたドラマ、実在する男性のチアリーディング部を題材にした小説など、男性アスリートたちの活躍にメディアが注目しています。

スポーツに男女の差はある？

1896年に開催された、第1回目のオリンピックには女性選手は参加できませんでした。しかし、最近のオリンピックでは、女性選手の占める割合は全体の4割を超えています。男性でも女性でも、世界を舞台に挑戦を続けるアスリートは私たちに感動を与えてくれます。

② サッカーだけじゃない！ 女性アスリートの活躍

世界で活躍している女性アスリートは、サッカー以外にもたくさんいます。レスリングやホッケー、野球など、「男性のスポーツ」というイメージにとらわれることなく、自分のやりたいこと、自分が自分らしく輝けるスポーツで活躍しているのです。

④ スポーツに「○○向け」はない

「男性向け」「女性向け」といった固定観念にとらわれることなく活動するアスリートたち。スポーツに男女という性別は関係ないことを、世界で活躍するその姿が教えてくれています。自分が自分らしくいることで、力を発揮し輝き続けることができます。

刈谷市男女共同参画リーフレット

発行：刈谷市 市民協働課 住所：刈谷市東陽町1丁目1番地 TEL:0566-95-0002

めくると
職業編だよ

私たちが輝き続ける秘密。



「男だから」「女だから」ではなく
「自分らしく」できること。
あなたは将来、どんな仕事にも
つくることができるのです。



1 さまざまな分野で活躍する男女が増えています!

最近「リケジョ」という言葉が出てきています。「リケジョ」とは、進学、就職にあたって理系を選ぶ女性のこと。以前は女性の割合が少なかった理系の分野に進む女性が増えています。また、以前は保育士を「保母」、女性の看護師を「看護婦」と呼んでいましたが、今はどちらの職業でも男性が活躍しています。



3 バックアップ体制の現状

男女がともに働くことで、仕事にさまざまな発想を取り入れることができます。国や大学、企業のバックアップ体制も充実してきています。保育を学ぶ学科を共学にしたり、女性研究者が働きやすい職場環境に改善したりと、誰もが性別に関わらず、夢をかなえられる環境が整ってきました。

職業は性別で決まる?

体力が必要な仕事には男性、子どもと関わる仕事には女性…。性別のイメージだけで職業を見てしまうことはないでしょうか?個性や能力は性別で決まりません。もちろん、職業も性別で決めるものではありません。



2 自分の夢に満足している「リケジョ」は多い

化粧品メーカーの調査では、理系に進んだ女子学生の9割以上が自分の選択に満足しているという結果が出ました。「好きなことを追求できる」とことや「希望する職業につける」ことなどがその理由です。女性科学者や研究者の活躍がますます期待されます。



4 自分の夢を追いかけよう!

「男性の職業だから」「女性の職業だから」とあきらめてはいけません。自分の夢を追いかけて実現した先輩たちはたくさんいます。その誰もがいきいきと輝きながら働いています。夢を実現するという強い意志があれば、あなたも輝く人の仲間入りです。